

蘇南高校の発展に願いを込めた作品を
小川校長へ手渡す岡田さん（左）



母校発展願い絵贈る

筆持てず 岡田さん 南木曾岳描く
指などで

蘇南高

南木曾町読書の岡田政晴さん（71）が、母校であり、非常勤講師

ポールには校旗などが掲げられる。岡田さんは「蘇南から見る南木曾岳が一番美しい」と思いを語る。

として勤めていた町内の蘇南高校へ、同校を題材にした絵画を寄贈した。趣味で絵を描いており、2年前に体調を崩して筆を持つことが難しくなっていたから指などを使って描き続けている。母校の発展に願いを込めた。

このほど、全校集会に合わせて寄贈式が開かれた。小川幸司校長に作品を手渡した岡田さんは「新しい精神を持ち、蘇南を盛り上げていってほしい」と在校生へ言葉を贈った。生徒会長の亀山ちひろさん（2年）は「後輩として諦めない精神を学びました」と感謝の気持ちを伝えた。

（大崎崎慧）